



なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

がんぞ しょうかそんじゅく たまきぶんのしんきゅうたく 元祖!? 松下村塾 玉木文之進旧宅

出前授業で訪れた萩市立椿東小学校のある椿東に、吉田松陰で有名な松下村塾があります。その近くにもう一つの松下村塾があることをご存じですか。松下村塾は、幕末の松本村（現萩市椿東）にあった私塾です。創始者は、吉田松陰の叔父、玉木文之進（1810~1876）で、自宅に近所の子どもを集めて教えたのが始まりでした。塾の名前は、村名の松本を松下と言い換えた事によります。松陰自身も講義を受け、厳しく指導されました。文之進の後を、松陰の親戚、久保五郎左衛門が継ぎました。その頃、松陰は野山獄を出て実家に戻っており、教えを願う人がたくさんいました。そこで、実家の一室で講義を始め、やがて松下村塾の名前を譲り受けます。身分の隔てなく塾生を受け入れ、別棟で続けますがそこも手狭になり、塾生らで増築されて現在の形となります。松陰が指導したのは、再度野山獄に入れられるまでのわずかな期間でしたが、高杉晋作（187号参照）や伊藤博文（210号）ら、その教えを受けた人達が明治維新の原動力となりました。参考文献『山口県の地名』平凡社『松下村塾』海原徹



玉木文之進旧宅（市指定史跡）
松下村塾発祥之所



松下村塾（国指定史跡・世界遺産）
玄関 講義室



多くの人に影響を与えた吉田松陰（1930~1859）は、杉百合之助の次男として生まれ、兵学師範吉田大助の養子となります。兵学者として11歳で、藩主毛利敬親の前で講義を行います。21歳で九州を游学し、江戸や東北へと旅を続け、多くの人と交流をもちました。1853年に黒船を見た松陰は、海外を知る必要性を痛感し、翌年ペリー艦隊に乗り込み、アメリカに渡ることを願いますが、失敗に終わります。萩に戻されると、野山獄に入れられ、その後実家の杉家で過ごすこととなります。その時に、開いたのが松下村塾です。日本のことを思い、幕府に対立する態度を取った松陰は、江戸に呼び出され、安政の大獄により命を落とします。最後まで至誠（まごころ）を貫いた人でした。参考文献『萩市史』



吉田松陰自賛肖像（部分）
松浦松洞筆



松陰誕生地（市指定史跡）
杉家 旧宅地



松陰幽囚の旧宅（国指定史跡）
野山獄出獄後の幽囚室



吉田松陰・金子重之助銅像
共に渡米を志す

山口博物館では、30年度に「吉田松陰関係資料」の展示を予定しております。ぜひご来館ください。